

## パートナーシップ相互運用性イニシアティブ (Partnership Interoperability Initiative)

2014 年末に予定されているアフガニスタンでの戦闘任務終了後も、それまでパートナー国との間で培ってきた相互運用性を確保することが必要との観点から、北大西洋理事会（NAC）が具体的提案を策定し、2014年6月25日のNATO外相会合において承認、9月4日のウェールズ首脳会合において発表された。本イニシアティブの概要は以下のとおり。

### 1 NATOとの相互運用性強化を希望するパートナー国への支援

(1) NATOは、相互運用性関連事業に参加するパートナー国に対し、相互運用性に関する組織的、定期的かつ予測可能な形での対話の場を提供するために、NATO加盟国及び一定数のパートナー国との「相互運用性プラットフォーム」を開催する。

(2) 原則として、NATO主導作戦あるいはNATO即応部隊（NRF）に現在または過去2年間以内に参加しているパートナー国、NATOへの新規加盟を希望するパートナー国等に相互運用性プラットフォームへの参加資格が与えられる。

(3) NACは、毎年あるいは必要に応じ、相互運用性プラットフォームの参加国リストを承認する。NACは上記(2)の基準に合致しないパートナー国も含めることができる。NATOとともに危機管理に当たる国際機関、特に国連、EU、OSCEの代表も招待できる。本年同プラットフォームへの参加を認められたのは、日本を含む24か国（アルメニア、豪州、オーストリア、アゼルバイジャン、バーレーン、ボスニア・ヘルツェゴビナ、フィンランド、グルジア、アイルランド、日本、ヨルダン、カザフスタン、韓国、モルドバ、モンゴル、モンテネグロ、モロッコ、NZ、セルビア、スウェーデン、スイス、マケドニア、ウクライナ、アラブ首長国連邦）。

(4) 相互運用性プラットフォームの会合では、NATOとパートナーの相互運用性に関する幅広い課題を取り上げることができる。また、相互運用性プラットフォームに参加するパートナー国には、NATOから演習・活動への参加や情報へのアクセスなど追加的支援が提供される。

### 2 パートナー国の貢献促進のための高次の（enhanced）機会の提供

(1) パートナー国が自主的な差別化の精神に基づき一層の貢献を行う場合、NATOとしてもそれを促進するため高次の機会を提供する。

(2) これらの高次の機会には、閣僚級を含む定期的な政治協議、危機発生前の協議・作戦計画等への参加、演習参加の確約、事務局・指揮系統への職員配置、分析・インテリジェンスへのアクセス等が含まれる。

(3) これらの高次の機会の提供は、個別にNACにより決定され、期間は3年で更新可

能である。その基準としては、NATO主導作戦への多大な貢献、NRFへの参加、NATO演習への参加、NATO主導作戦へのその他資産・リソースの供与等が挙げられる。現時点で、そのようなパートナー国として特定されたのは、スウェーデン、フィンランド、グルジア、ヨルダン、オーストラリアの5か国。

(了)